

※2016年度以前入学者は、2018年度以前の履修要覧で確認してください。

授業科目一覧

- ：リサーチワーク科目
- 無印：コースワーク科目

授業科目	単位	備考
●「心理学基礎研究」領域		
知覚心理学特殊研究	2	☆
知覚心理学特殊演習	4	☆
認知心理学特殊研究	2	☆
認知心理学特殊演習	4	☆
神経心理学特殊研究	2	☆
学習心理学特殊研究	2	☆
●「発達臨床研究」領域		
発達心理学特殊研究Ⅰ	2	☆
発達心理学特殊研究Ⅱ	2	☆
発達心理学特殊演習Ⅰ	4	☆
発達心理学特殊演習Ⅱ	4	☆
フェミニスト・カウンセリング特殊研究	2	☆
比較行動学特殊研究	2	☆
家族臨床心理学特殊研究	2	☆
●心理学論文作成演習Ⅰ	4	☆
●「教育研究」領域		
教育実践特殊研究1	2	☆
教育実践特殊研究2	2	☆
教育実践特殊研究3	2	☆
教育実践特殊研究4	2	☆
教育実践特殊研究5	2	☆
教育実践特殊研究6	2	☆
教育実践特殊研究7	2	☆
教育実践特殊研究8	2	☆
教育実践特殊研究9	2	☆
生涯学習特殊研究1	2	☆
生涯学習特殊研究2	2	☆
生涯学習特殊研究3	2	☆
生涯学習特殊研究4	2	☆
国際教育特殊研究1	2	☆
国際教育特殊研究2	2	☆
国際教育特殊研究3	2	☆
国際教育協力特殊研究	2	☆
教育実践研究特殊演習	4	☆
教育実践研究特殊演習1	2	☆
教育実践研究特殊演習2	2	☆
生涯学習研究特殊演習	4	☆
生涯学習研究特殊演習1	2	☆
生涯学習研究特殊演習2	2	☆
国際教育研究特殊演習	4	☆
国際教育研究特殊演習1	2	☆
国際教育研究特殊演習2	2	☆
●教育研究論文作成演習	4	☆

備考：☆印は再履修することができる科目を示す
本年度に開講する科目についてはシラバス等を参照すること

履修要項

●単位の修得方法

1. 教育研究領域の専攻生

修了要件単位（10単位以上）は、すべて本学大学院人間科学専攻博士後期課程において修得する。履修にあたっては次の方法に従わなければならない。

- (1) 特殊研究から2単位以上修得する。
- (2) 特殊演習は、教育研究領域のうち、博士論文の内容に係わる分野において2科目4単位を1年次に履修する。
- (3) 教育研究論文作成演習（4単位）を履修する。

2. 心理学基礎研究領域、発達臨床研究領域の専攻生

修了要件単位（10単位以上）のうち、本学大学院人間科学専攻博士後期課程において6単位以上を修得する。履修にあたっては次の方法に従わなければならない。

- (1) 特殊演習（4単位）は、博士論文の内容に係わる領域（心理学基礎研究、発達臨床研究のいずれか）において1年次に履修する。

●研究指導体制

1. 教育研究領域

- (1) 入学後の早い時期に、大学院学生の希望および研究領域と本専攻の専任教員の専門領域を複合的に勘案し、指導教員を決定する。
- (2) 指導教員とともに副指導教員を決定し、複数指導体制とする。
- (3) 大学院学生は、研究全般に関して、適宜指導教員および副指導教員に相談することができる。
- (4) 毎年度、大学院学生は指導教員と相談の上、研究計画を立て、指導教員は「研究指導計画書」を作成して指導する。
- (5) 大学院学生は、指導教員が担当する「教育研究論文作成演習」を履修し定期的な論文執筆指導を受け、博士論文を作成する。
- (6) 博士論文の中間発表では当該専攻の全専任教員が参加し、指導助言を行う。

2. 心理学基礎研究領域、発達臨床研究領域

- (1) 入学時に、大学院学生の希望と研究領域および本専攻の専任教員の専門領域を複合的に勘案し、入学後の早い時期に指導教員を決定する。
- (2) 指導教員とともに副指導教員を決定し、複数指導体制とする。
- (3) 大学院学生は、研究全般に関して、適宜指導教員および副指導教員に相談することができる。
- (4) 毎年度、大学院学生は指導教員と相談の上、研究計画を立て、指導教員は「研究指導計画書」を作成して指導する。
- (5) 大学院学生は、指導教員が担当する「心理学論文作成演習」を履修し定期的に論文執筆指導を受け、博士論文を作成する。

●在学延長の場合

1. 教育研究領域の専攻生

在学延長を承認された者は、教育研究論文作成演習のみ履修することができる。

2. 心理学基礎研究領域、発達臨床研究領域の専攻生

在学延長を承認された者は、心理学論文作成演習のみ履修することができる。

授業科目一覧

●：リサーチワーク科目
無印：コースワーク科目

授業科目	単位	備考
●「心理学基礎研究」領域		
知覚心理学特殊研究	2	☆
知覚心理学特殊演習	4	☆
認知心理学特殊研究	2	☆
認知心理学特殊演習	4	☆
神経心理学特殊研究	2	☆
学習心理学特殊研究	2	☆
●心理学博士論文演習Ⅳ	4	☆
●心理学博士論文演習Ⅴ	4	☆
●「発達臨床研究」領域		
発達心理学特殊研究Ⅰ	2	☆
発達心理学特殊研究Ⅱ	2	☆
発達心理学特殊演習Ⅰ	4	☆
発達心理学特殊演習Ⅱ	4	☆
フェミニスト・カウンセリング特殊研究	2	☆
比較行動学特殊研究	2	☆
家族臨床心理学特殊研究	2	☆
●心理学博士論文演習Ⅰ	4	☆
●心理学博士論文演習Ⅱ	4	☆
●心理学博士論文演習Ⅲ	4	☆
●「教育研究」領域		
教育実践特殊研究 1	2	☆
教育実践特殊研究 2	2	☆
教育実践特殊研究 3	2	☆
教育実践特殊研究 4	2	☆
教育実践特殊研究 5	2	☆
教育実践特殊研究 6	2	☆
教育実践特殊研究 7	2	☆
教育実践特殊研究 8	2	☆
教育実践特殊研究 9	2	☆
生涯学習特殊研究 1	2	☆
生涯学習特殊研究 2	2	☆
生涯学習特殊研究 3	2	☆
生涯学習特殊研究 4	2	☆
国際教育特殊研究 1	2	☆
国際教育特殊研究 2	2	☆
国際教育特殊研究 3	2	☆
国際教育協力特殊研究	2	☆
教育実践研究特殊演習	4	☆
教育実践研究特殊演習 1	2	☆
教育実践研究特殊演習 2	2	☆
生涯学習研究特殊演習	4	☆
生涯学習研究特殊演習 1	2	☆
生涯学習研究特殊演習 2	2	☆
国際教育研究特殊演習	4	☆
国際教育研究特殊演習 1	2	☆
国際教育研究特殊演習 2	2	☆
●教育研究論文作成演習	4	☆

備考：☆印は再履修することができる科目を示す
本年度に開講する科目についてはシラバス等を参照すること

履修要項

●単位の修得方法

1. 教育研究領域の専攻生

修了要件単位（10単位以上）は、すべて本学大学院人間科学専攻博士後期課程において修得する。履修にあたっては次の方法に従わなければならない。

- (1) 特殊研究から2単位以上修得する。
- (2) 特殊演習は、教育研究領域のうち、博士論文の内容に係わる分野において2科目4単位を1年次に履修する。
- (3) 教育研究論文作成演習は、全年次において履修または再履修できるが、修了要件単位には数えない。

2. 心理学基礎研究領域、発達臨床研究領域の専攻生

修了要件単位（10単位以上）のうち、本学大学院人間科学専攻博士後期課程において6単位以上を修得する。履修にあたっては次の方法に従わなければならない。

- (1) 特殊演習（4単位）は、博士論文の内容に係わる領域（心理学基礎研究、発達臨床研究のいずれか）において1年次に履修する。
- (2) 心理学博士論文演習Ⅰ～Ⅴは、全年次において履修または再履修できるが、修了要件単位には数えない。

●研究指導体制

1. 教育研究領域

- (1) 入学後の早い時期に、大学院学生の希望および研究領域と本専攻の専任教員の専門領域を複合的に勘案し、指導教員を決定する。
- (2) 指導教員とともに副指導教員を決定し、複数指導体制とする。
- (3) 大学院学生は、研究全般に関して、適宜指導教員および副指導教員に相談することができる。
- (4) 毎年度、大学院学生は指導教員と相談の上、研究計画を立て、指導教員は「研究指導計画書」を作成して指導する。
- (5) 大学院学生は、指導教員が担当する「教育研究論文作成演習」を履修し定期的な論文執筆指導を受け、博士論文を作成する。
- (6) 博士論文の中間発表では当該専攻の全専任教員が参加し、指導助言を行う。

2. 心理学基礎研究領域、発達臨床研究領域

- (1) 入学時に、大学院学生の希望と研究領域および本専攻の専任教員の専門領域を複合的に勘案し、入学後の早い時期に指導教員を決定する。
- (2) 指導教員とともに副指導教員を決定し、複数指導体制とする。
- (3) 大学院学生は、研究全般に関して、適宜指導教員および副指導教員に相談することができる。
- (4) 毎年度、大学院学生は指導教員と相談の上、研究計画を立て、指導教員は「研究指導計画書」を作成して指導する。
- (5) 大学院学生は、指導教員が担当する「心理学博士論文演習」を履修し定期的に論文執筆指導を受け、博士論文を作成する。

●在学延長の場合

1. 教育研究領域の専攻生

在学延長を承認された者は、教育研究論文作成演習のみ履修することができる。

2. 心理学基礎研究領域、発達臨床研究領域の専攻生

在学延長を承認された者は、心理学博士論文演習のみ履修することができる。